

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。
②①に基づく取り組み結果	社会資本整備総合交付金を導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	主要市道の舗装改良及び歩道整備を行った。 (1)市道4号線舗装改良工事(L=587.0m)、(2)市道26号線用地買収(A=102.90㎡)					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	1,318	1,617	2,362	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	1,747	3,364	5,726	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	176,703	219,836	金額(千円)	内容	404,766	
国支出金(千円)	13,622	69,098	30,023	市道4号線舗装改良工事	180,603	
県支出金(千円)			2,686	市道26号線用地買収		
市債その他(千円)	14,200	51,500			171,700	
一般財源(千円)	148,881	99,238			52,463	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げするため、主要市道の整備は不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	市道22、26、28号線、軽井沢周回道路、舗装改良工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市道22、26、28号線、軽井沢周回道路、舗装改良工事	212,345	271,783	当初	199,544	H26からの繰越	56,119	
				H26⇒27繰越	59,438			
③達成状況	未完了			補正	12,801	219,836	現年分	163,717
				流用・充当				
④未完了・非着手の理由	排水整備工事については、地権者承諾に不測の時間を要する等により繰り越しをしたため。	平成28年度への繰越額(単位:千円)		17,470				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	倉田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コスト削減のための整備手法の更なる検討。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	コスト削減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取り組み結果	設計比較及び再生材を使用してコスト削減を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般市道が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	道路排水施設としての側溝の整備を行った。 (1)市道4333号線排水整備工事(L=61.2m) (2)市道4512号線排水整備工事(L=103.3m)、						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	1,009	1,157	164	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	1,297	2,454	2,618	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	43,814	14,622	金額(千円)	内容		49,697	
国支出金(千円)			5,443	市道4333号線排水整備工事		3,300	
県支出金(千円)			5,132	市道4512号線排水整備工事			
市債その他(千円)						2,400	
一般財源(千円)	43,814	14,622				43,997	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げするため、一般市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	舗装等整備	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	排水整備工事(市道4333号線、市道4512号線)	35,000	35,000	当初	35,000	14,622	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	道路隣接地権者と境界の協議が必要等により工事を繰り越したため。	平成28年度への繰越額(単位:千円)		10,537			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	私道舗装整備要綱の見直しを図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度の私道舗装整備要綱の改正により、舗装整備工事に加え舗装補修工事についても実施する。
②①に基づく取り組み結果	私道舗装整備要綱の見直しを図り、戸数要件の緩和及び舗装補修について実施できるよう要綱を改正した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事を行う。
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	私道舗装整備要綱の見直しを図り、戸数要件の緩和及び舗装補修について実施できるよう要綱を改正した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	103	50	0	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	849	898	898	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	1,188	0	金額(千円)	内容	7,480		
国支出金(千円)			0				
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	1,188				7,480		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	私道舗装整備要綱の見直しを図ったことから、この制度を広く市民に周知すること。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、精査していく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	私道組合	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	私道舗装整備要綱の改正及び私道舗装整備工事の設計	4,480	4,480	当初	4,480	0	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	県水道局工事に不測の時間を要し繰り越したため。			流用・充当			0
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		4,480			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	倉田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	境界が確定となるよう、事業主体である千葉県と連携を図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	境界が確定となるよう、事業主体である千葉県と連携を図る。
②①に基づく取り組み結果	事業主体である千葉県と連携を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	整備することで交通の利便性を向上させる。
②事務事業の概要	事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m、用地面積4,220㎡、事業認可平成13年12月10日～平成31年3月31日。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	債務負担行為により土地取得(338.86㎡)、土地評価額調査、用地測量(138.14㎡)						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	203	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			203	市町村負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	203			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	境界が未確定の箇所があり、事業用地を取得できない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	地元負担金	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市町村負担金の支出	3,000	3,000	当初	3,000	203	H26からの繰越	
				H26⇒27繰越			現年分	203
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円)						

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	都市計画道路の計画変更に向けて、関係機関との協議を積極的に進める。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	地質調査、用地取得を積極的に進める。
②①に基づく取り組み結果	関係機関との協議を進め、都市計画道路の計画変更を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、整備を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業及び地元要望に伴い都市計画道路の整備が必要となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	道路予備設計、路線測量等を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠	
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	6,456	14,626	金額(千円)	内容	90,139		
	国支出金(千円)		6,696	路線測量委託			
	県支出金(千円)		6,336	予備設計委託			
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	6,456	14,626		90,139		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	用地測量(公図等調査)、用地購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	75,532	予算額	62,500	決算額	13,032	
②計画に対する事業実績	予備設計、路線測量	62,500	75,532	当初	62,500	14,626	H26からの繰越	13,032
③達成状況	未完了			H26⇒27繰越	13,032			
④未完了・非着手の理由	土地の交換にあたり国・県の調整に不測の時間を要したため。	平成28年度への繰越額(単位:千円)		57,500	現年分	1,594		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	倉田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業認可を取得し、地元説明会を実施し、事業に着手する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	事業量を拡大するため国の交付金の導入を図り、用地取得を積極的に進める。
②①に基づく取り組み結果	事業認可取得、地元説明会実施、用地取得(前金)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線、都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	予備設計、新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路用地買収(A=325.67㎡)					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii 都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	66.4	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	0	74,809	金額(千円)	内容	125,253	
	国支出金(千円)		19,582	用地購入	53,033	
	県支出金(千円)					
	市債その他(千円)	61,000			63,800	
	一般財源(千円)	0	13,809		8,420	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西にアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	用地購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業認可、説明会、用地購入(前金)	100,000	105,239	当初	100,000	74,809	H26からの繰越	5,239
				H26⇒27繰越	5,239			
③達成状況	未完了			補正			現年分	69,570
④未完了・非着手の理由	用地交渉に不測の時間を要したため。			流用・充当				
				平成28年度への繰越額(単位:千円)		28,312		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	法定点検に対応するための点検基準の制定。
②①に基づく取り組み結果	職員の法定点検の研修参加、職員による法定点検の実施。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	○道路補修・清掃委託 ○排水管(溝)清掃委託 ○道路維持工事					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 「道路の状況」満足度	14.5	-	-	%	市民意識調査
	ii 道路パトロール日数	128	128	128	日	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	218,937	144,505	金額(千円)	内容	173,822	
国支出金(千円)	25,822	19,186	816	道路愛護活動報償	21,320	
県支出金(千円)	0	0	55,962	道路補修・清掃委託他	0	
市債その他(千円)	44,300	0	87,727	舗装補修工事他	18,700	
一般財源(千円)	148,815	125,319			133,802	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	171,898	#####	当初	#####	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	未完了	171,898	#####	補正	27,500	144,505	現年分	144,505
				流用・充当	540			
④未完了・非着手の理由	丸山ポンプ場改修工事が、年度内の完了が見込まれないため繰り越し。	平成28年度への繰越額(単位:千円)		25,000				